



荻の里

黒部市立荻生小学校

学校だより 7号

平成29年10月4日

目指す子供の姿

やさしく かしく たくましく

《特集号》

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について

本年4月18日、6年生を対象として実施された「平成29年度全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりました。今年度は、教科に関する調査（国語A・B、算数A・B）と質問紙調査（児童の生活環境や学習環境に関するアンケート）が実施されました。

6年児童のみに実施されたものであり、また、この調査によって測ることがきるのは、児童の姿の一面であることは言うまでもありません。しかしながら、調査結果は本校児童の学力・学習状況の傾向として捉えることができるものとも考えます。全教職員で結果をしっかりと分析し、これまでの指導の成果や課題を明らかにすることにより、全学年の授業改善につなげ、本校児童のさらなる学力向上に向けて取り組んでいきたいと思っております。

※ 6年児童が取り組んだ調査問題・解説等の詳細については、国立教育政策研究所（文科省）のHPで公開しております。ぜひ、ご覧ください。

学力の土台は「健やかな心と体」！

子供たちが意欲的に学習に取り組むためには、安定した心と元気な体が必要です。心が不安定になると、物事に集中できなかったり、ちょっとしたことでくじけてしまったりしがちです。また、体が元気でないと、がんばる気持ちや挑戦しようとする気力もわいてきません。子供は、周囲からの温かい励ましや見守りによって自尊感情（自己肯定感）を高め、安定した心を育てていきます。早寝・早起き・朝ご飯などの規則正しい生活習慣は、元気な体をつくります。まずは、学習に取り組む土台となる子供たちの生活や心の状態を整えたいと思っております。

学校では、子供たちが生き生きと成就感を味わいながら学校生活を送ることができるよう、「安心・安全で楽しい学校づくり」や「分かる・できる・楽しい授業づくり」に努めていきます。ご家庭でも、保護者向けリーフレット「荻っ子のやくそく」や「家庭学習の充実に向けて」等を参考に、望ましい生活習慣の定着や家庭学習の習慣化、そして何よりも、子供たちの「健やかな心と体」を育てることにご協力をお願いします。

荻っ子のすがた（学力調査の結果から見たよさや課題）

【国語】

◎定着度が優れていた学習内容	▲定着度に課題の残った学習内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字を正しく読み・書きする。 ・ グループの話合いの中でスピーチメモを使うことのよさを書く。 ・ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉える。 ・ 自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える。 ・ 物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして、自分の考えをまとめて書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 俳句の情景や表現の特徴を捉えて読む。 ・ 目的に応じて、文章の中から必要な情報を見付けて読む。 ・ 動画を見る目的を捉えることを通して、目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話す。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>

【算数】

◎定着度が優れていた学習内容	▲定着度に課題の残った学習内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 1より小さい小数をかける乗法の問題場面を理解し、数量の関係を数直線に表す。 ・ カードの差が4の場合の、2桁の引き算の式と答えを書く。 ・ 加法と乗法の混合した整数と小数の計算をする。 ・ 割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶ。 ・ 示された割合を解釈して、基準量と比較量の関係を表している図を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 123×52 を計算する。 ・ リボンを2m買ったときの代金と3m買ったときの代金を求める。 ・ 料金の差を求めるために、示された資料から必要な数値を選び、その求め方と答えを記述する。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  </div>

確かな学力の育成に向けて

【国語】

- ・ 「漢字を読み・書きすること」については、概ねよい結果でした。校内漢字大会の取組や家庭学習での積み重ねが結果に結び付いていると考えます。
- ・ 物語を読んで、叙述を基に登場人物の心情や場面の描写を捉えたり自分の考えを書いたりする力が付いています。これからも、授業において、自分の考えをもち、相手に伝わるように書いたり、話したりすること、友達の考えと自分の考えを関わらせながら聞くことを大切に指導していきます。
- ・ 俳句の情景を捉えることに課題が見られました。子供が俳句を音読することで、言葉の美しい響きやリズムに着目できるよう、俳句を繰り返し読んだり、よさについて話し合ったりする学習に取り組みます。

【算数】

- ・ 基礎的・基本的な内容については、どの子もしっかりと理解していました。しかしケアレスミスが少なからずありました。普段から見直しをしっかりと行うよう指導していきます。
- ・ 問題場面を適切に読み取り、式に表すことに課題が見られました。図などに表して捉えたり、より簡単な場面で考えたりすることを習慣付けていきたいと思えます。

荻っ子のすがた（児童質問紙調査の結果から見たよさや課題）

◎ 基本的な生活習慣が身に付いています。

「朝食を毎日食べている」「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と答えた子供が多くいました。集中して勉強するには、元気な心と体が何より大切です。そのためにも、よい生活習慣を身に付け、継続することの大切さを伝えていきたいと思えます。しかし、「普段1日当たり1時間以上テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりする」「普段1日当たり1時間以上テレビゲームをする」と答えた児童が増えており、課題があります。その弊害について話し合ったり、ルールを決めて実行したりすることが大切だと思えます。



◎ 家庭での学習習慣が身に付いています。

「学校の授業以外に、普段1日当たり1時間以上勉強する」「土・日曜日等学校が休みの日に、1日当たり1時間以上勉強する」「自分で計画を立てて勉強している」「宿題や予習・復習をしている」と答えた子供が多くいました。本校では、平成26年度から自学ノートカバーや家庭学習がんばり週間の取組を始め、今年で4年目になりました。今年度、全国学力・学習状況調査を行った6年生は、5年生のときには、ほとんどの子供が自学ノート7冊を達成して金メダルシールをもらっています。家庭での学習習慣が身に付いている子供がとても多いと言えます。ただ、読書に関しては、毎日1時間以上読書する子供が多い反面、全くしない子供も多く見られました。今後も家庭での、読書を含めた学習習慣の定着を進めていきたいと思えます。

◎ 地域の行事やボランティアに積極的に参加しています。

「住んでいる地域の行事に参加している」子供や「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」「地域社会でボランティアに参加したことがある」と答えた子供が多くいました。荻生地区は、公民館祭りや収穫祭等の地域の行事やさわやか挨拶運動等で地域の方とふれ合う機会が多いことが特徴です。それらを通じて、子供は地域の方々の期待を感じ、認められることで喜びを感じることができます。「子供は、学校・家庭・地域で育つ」ことを改めて実感しました。

▲ 自己肯定感に課題が見られました。

「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがある」「難しいことでも、失敗を恐れず挑戦している」と答えた子供がとても多く、挑戦心や達成感が高い反面、「自分にはよいところがある」と答えた子供はあまり多くありませんでした。日頃から、子供たちの頑張りをしっかりと受け止め、よさを認め、そのよさを言葉にして具体的に伝えていくことが大切であると感じています。

健やかな心と体を育むために

1 嫌なこと・苦しいことに直面したときを成長のチャンスとしましょう。

- ☆ ものごとをやり遂げた成就感を味わったことのある子供は、正答率が高い傾向にあります。
 - ・自分で決めたことや決められたことは、辛くてもがんばることにより、あきらめない心と態度を育てましょう。
 - ・結果を出すことも大切ですが、努力する過程を成長につなげましょう。

2 認め励ます言葉を多くし、やる気や積極性につなげましょう。

- ☆ 認められた経験が多く自尊心の高い子供は、正答率が高い傾向にあります。
 - ・自己有用感（人の役に立っていると感じる）や自尊心（自分自身を価値ある存在と覚える）が高まるような関わりや言葉掛けを大切にしましょう。
 - ・他との比較でなく、努力や進歩の様子を認め、励ましましょう。

3 家庭の団らんを大切にしましょう。

- ☆ 家族とコミュニケーションをしている子供は正答率が高い傾向にあります。
 - ・家族でのあいさつや会話を心がけ、家族団らんを大切にしましょう。
 - ・手伝いを通して、家族の一員として自覚をもたせるようにしましょう。

4 規範意識や自分を律する心を育てましょう。

- ☆ 学校のきまりや友達との約束を守る子供は、正答率が高い傾向にあります。
 - ・ルールやマナー、約束の意味とその大切さを子供たちに伝えましょう。
 - ・様々な人と関わる経験を通して、社会や集団の一員であるという意識や自覚をもつことができるようにしましょう。

5 読書に親しむ環境を整えましょう。

- ☆ 読書に親しんでいる子供は、正答率が高い傾向にあります。
 - ・本を読むことは文字に親しみ、世界を広げることにつながります。読書を楽しむ習慣を育てましょう。
 - ・ゲームやテレビより本に手を伸ばすことができるような環境づくりをしましょう。



6 自学ノートを積極的に活用しましょう。

- ☆ 家庭学習に計画的に取り組んでいる子供は、正答率が高い傾向にあります。
 - ・宿題や授業の復習、漢字・計算等の繰り返し練習でもかまいません。進んで学習に向かう気持ちと根気強く取り組む心を育てましょう。
 - ・低学年から、目当て（10分×学年）の時間を少しずつ伸ばすことで、家庭学習の習慣化に取り組みましょう。